

# 平成28年度第1回清掃事業審議会資料

## 目次

### (1) 報告事項

#### 【報告事項①】

平成28年度一般廃棄物処理実施計画について・・・・・・・・・・P1～12

#### 【報告事項②】

平成28年度資源循環部事業概要について・・・・・・・・・・P13～14

# 平成 28 年度 一般廃棄物処理実施計画

## 計画の目的

本計画は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号）第 6 条第 1 項」に基づき定められた「鹿児島市一般廃棄物処理基本計画」の推進及び実施のために必要な事項を定めるものである。

## ごみ処理実施計画

1 処理区域 鹿児島市全域

2 計画期間

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

3 処理計画量

ごみ排出量	内訳	
	計画収集	直接搬入
197,309t	141,205t	56,104t

1 人 1 日あたり ごみ排出量	うち 計画収集
898g	643g

※人口は、601,851 人

最終処分量
28,410t

最終処分率
13.7%

焼却量
159,885t

※「最終処分量」とは、もやせないごみ、一部の粗大ごみ、処理残渣などを埋立処分場で処理する量

資源化量	内訳			
	分別収集	※中間処理による資源化	資源物回収活動回収量	民間資源化
38,173t	27,583t	677t	3,831t	6,082t

※「中間処理による資源化」とは、焼却施設、粗大ごみ処理施設で処理する過程で資源化できた量

資源化率
18.4%

※資源化率 = 資源化量 ÷ (ごみ排出量 + 資源物回収活動回収量 + 民間資源化)

#### 4 平成 28 年度の取り組み

##### (1) ごみの発生・排出抑制のための方策に関する事項

市は、ごみの発生・排出抑制及び再資源化施策を推進するものとし、市民・事業者への 3R の浸透を図るため、以下の施策を実施する。

##### ① 広報・啓発活動の充実

###### ○ 市政出前トークの開催

- ・「ごみ・資源物の適正な分別とリサイクル」、「事業所のごみ処理」をテーマとした町内会等への啓発

##### 【拡充】 ○ 3R 推進事業

- ・市電等の公共交通機関による広告の実施
- ・家庭のごみ出しカレンダーの作成・配布
- ・児童作品コンクールの開催
- ・3R 推進キャンペーンの実施
- ・町内会等各種団体へ出向いたごみ分別説明会の開催
- ・高齢者向けごみ分別マナー啓発チラシの作成・配布など
- ・学生向けごみ分別マナー講座の開催

###### ○ 店頭回収を行っている店舗の情報提供

###### ○ 生ごみの減量化・資源化推進事業

- ・ダンボールコンポストについて学べる市民向け講座の開催

###### ○ フリーマーケットの開催に関する情報提供

###### ○ 資源物回収活動の活性化推進事業

- ・市民団体が実施する資源物回収活動の回収量及び実施回数に応じた補助や優良団体の表彰の実施

##### ② 粗大ごみの有効活用の促進

###### ○ かがしま環境未来館管理運営事業

- ・インターネットによる不用品交換情報の提供

##### ③ かがしま環境未来館の活用

###### ○ かがしま環境未来館管理運営事業【再掲】

- ・3R に関連する講座の開催
- ・リユース・リサイクルショップの運営

##### ④ 環境教育の充実

###### ○ 3R 推進事業【再掲】

- ・市内小学 4 年生への社会科学習資料「ストッピーとさくりんのごみ・まち美化教室」の作成・配布

###### ○ ごみ処理施設見学の実施

###### ○ かがしま環境未来館管理運営事業【再掲】

- ・ごみの 3R 教室の実施

###### ○ 生ごみのリサイクル出前塾事業

- ・生ごみのリサイクル授業の実施
- ・ダンボールコンポストの教員向け講座の開催

##### ⑤ 市民や事業者の取り組みのサポート

- ・市民や事業者が率先して行うごみの減量化や資源化に向けた提案や取り組み

に関するホームページなどでの啓発

⑥事業所への指導の強化

○廃棄物適正処理指導事業

- ・多量排出事業所からの減量に関する計画書や収集・運搬許可業者からの処理実績報告書等の徴収

○事業系ごみ減量推進事業

- ・清掃工場での搬入検査の強化

○事業所ごみ対策事業

- ・事業所等での講座の開催による啓発

⑦優良な収集・運搬許可業者の育成

- ・優良な収集・運搬許可業者を育成するための指導方法や優良業者の評価方法などについての調査・研究

⑧清掃事業審議会及び事業所ごみ等対策協議会等の開催

⑨補助事業の推進

○資源物回収活動の活性化推進事業【再掲】

- ・市民団体が実施する資源物回収活動の回収量及び実施回数に応じた補助

○生ごみの減量化・資源化推進事業【再掲】

- ・生ごみ処理機器を購入設置した市民に対する補助

○ごみステーション整備費補助金

- ・ボックス型のごみステーションの整備に対する補助。1箇所につき1回限りとしていたものを、補助金の交付決定から10年経過したものについて再申請を認める。

(2) ごみの減量化及び資源化に関する事項

市は、これまで継続しているごみの減量化及び資源化に対する啓発活動等を進めることにより、更なる減量化の拡充を図るため、以下の施策を実施する。

○ごみ処理の有料化の効果、問題点などの調査・研究

○計画収集に係る粗大ごみの有料化

- ・平均的な重量が30キログラム未満のものとして市長が定めるもの1個又は1組につき350円
- ・平均的な重量が30キログラム以上のものとして市長が定めるもの1個又は1組につき700円

○新南部清掃工場（ごみ焼却施設・バイオガス施設）の整備

- ・事業者選定のための要求水準書作成など

○生ごみの減量化・資源化推進事業【再掲】

- ・水切り器具や水切り啓発用チラシの配布による生ごみの水切り活動の支援

(3) ごみの適正な処理及びこれを実施する者に関する事項

市は、効率的な収集・運搬体制を検討するとともに、事業系ごみや在宅医療廃棄物の適正排出の徹底など、ごみの適正な処理を推進するため、以下の施策を実施する。

○廃棄物監視指導員設置事業

- ・監視指導員による市以外の者が一般廃棄物をごみステーションから収集し、運搬することの防止

○事業系ごみ減量推進事業【再掲】

- ・事業所向け広報チラシの作成・配布
- ・清掃工場での搬入検査の強化
- 事業所ごみ対策事業【再掲】
  - ・事業所等での講座の開催による啓発
- ごみ収集車整備等事業
  - ・ごみ収集車4台（中型車1台、小型車3台）の買い替え
- 北部・南部清掃工場ごみ焼却処理業務等委託
- 北部・南部清掃工場施設整備事業
  - ・両清掃工場の焼却施設等の維持管理のための整備工事
- リサイクルプラザ施設整備事業
  - ・リサイクルプラザの施設維持管理のための整備工事、各種機器類の整備
- 新南部清掃工場（ごみ焼却施設・バイオガス施設）の整備【再掲】
  - ・事業者選定のための要求水準書作成など
- 横井埋立処分場維持管理等整備事業
  - ・2工区表流水排水塔嵩上工事

(4) 不法投棄への対応

市は、廃棄物の不法投棄を取り締まるため、以下の施策を実施する。

- 廃棄物監視指導員設置事業【再掲】
  - ・廃棄物監視指導員による監視パトロールの実施

(5) その他ごみの処理に関し必要な事項

- ①市は、災害時におけるごみ処理対策について、鹿児島市地域防災計画に従い、適切に対応する。
- ②市で処理できないものの周知を図る。
- ③一般廃棄物会計基準の導入について、調査・研究を進める。

5 収集・運搬計画

(1) 市で収集するごみ・資源物

市で収集するごみ・資源物は、一般家庭の日常生活活動に伴って生じたごみ・資源物とする。

ステーション収集における家庭のごみ・資源物の収集日は、地域ごとに定められた収集日とし、収集日当日に、朝8時までに排出するものとする。

ア ステーション収集・個別収集

ごみ・資源物の種類	収集・運搬				処分等					
	主体	回数	排出方法	方式	方法	主体	施設			
① もやせるごみ	市 (直営及び委託)	週2回	台所ごみ、布類、ゴム類、革類、紙くず等を透明ごみ袋(容量は45リットルまで)に入れて排出する。 木切れ等はひもで束ねて排出する。	ステーション収集	焼却	市	北部清掃工場 南部清掃工場			
② もやせないごみ		月2回	金属類、陶磁器類等を透明ごみ袋(容量は45リットルまで)に入れて排出する。		埋立		横井埋立処分場			
③ 缶・びん		月 2~3回	キャップ等を外し、軽くゆすぎ、「缶・びん」と「ペットボトル」は別の透明ごみ袋(容量は45リットルまで)に入れて排出する。		資源化		民間業者	リサイクルプラザ		
④ ペットボトル										
⑤ プラスチック容器類		週1回	汚れを取り除き、透明ごみ袋(容量は45リットルまで)に入れて排出する。							
⑥ ~ ⑩ 古紙類		週1回	⑥新聞・チラシ、⑦段ボール、⑧雑誌類、⑨紙箱・包装紙等、⑩紙パックはそれぞれひもで束ね排出する。							
		月2回	⑪衣類は透明ごみ袋(容量は45リットルまで)に入れて排出する。							
⑫ 電球・蛍光灯		月1回	「電球・蛍光灯」、「乾電池」「スプレー缶類」は別の透明ごみ袋(容量は45リットルまで)に入れて排出する。						市	北部清掃工場
⑬ 乾電池										
⑭ スプレー缶類										
⑮ 粗大ごみ(※)		不定期	電話で申し込み、粗大ごみ処理手数料券を貼付して排出する。	戸別収集		埋立			粗大ごみ処理施設 横井埋立処分場	

※ 粗大ごみとは、製品としての形状を有し、その最大の辺又は径がおおむね50cm

以上 200cm 以下であり、かつ重量がおおむね 60 kg 以下であるもの及び市長が特に認めるものをいう。

イ 使用済小型電子機器等のボックス回収

使用済小型電子機器等の回収品目(携帯電話やデジタルカメラなど 12 品目)は、専用の回収ボックス(30 か所)で市が回収を行い、認定事業者において資源化を行う。

(2) 排出者又は許可業者が施設へ直接搬入するごみ・資源物

ア 事業系ごみ

商店、工場、事務所、会社、学校等事業活動に伴い生じた一般廃棄物(事業活動に伴って生じた産業廃棄物は除く)は、排出者が自ら処理施設へ持ち込むか、市の許可を持っている一般廃棄物処理業者に収集運搬を委託するものとする。

イ 引越しごみなど家庭から一時的に多量に発生したごみ・資源物

排出者が自ら市の処理施設へ持ち込むか、市の許可を持っている一般廃棄物処理業者に収集運搬を委託するものとする。

① 鹿児島市が処理できるもの

ごみ・資源物の種類	収集・運搬		処分等	
	主体	排出方法	方法	施設
もやせるごみ (事業系ごみについては、調理くずやリサイクルできない紙くずなどに限る。)	排出者 又は 許可業者	透明ごみ袋に入れるなどして排出する。	焼却	北部清掃工場 南部清掃工場
もやせないごみ (事業系ごみについては、職員などの飲食した際に排出されるものに限る。)		透明ごみ袋に入れるなどして排出する。	埋立	横井埋立処分場
缶・びん (事業系ごみについては、職員などの飲食した缶・びんに限る。)		キャップ等を外し、軽くゆすぎ、「缶・びん」と「ペットボトル」は別の透明ごみ袋に入れるなどして排出する。	資源化	リサイクルプラザ
ペットボトル (事業系ごみについては、職員などの飲食したペットボトルに限る。)				
プラスチック容器類 (事業系ごみについては、職員などの飲食した弁当がら等の容器類に限る。)				
粗大ごみ(※)		—		粗大ごみ処理施設

※ 粗大ごみとは、製品としての形状を有し、その最大の辺又は径がおおむね 50cm 以上 200cm 以下であり、かつ重量がおおむね 60 kg 以下であるもの及び市長が特に認めるものをいう。ただし、事業系ごみについては、木製のもの(金属やプラスチックが付いていないもの)や布団に限る。

(注) 事業系ごみのもやせないごみ、缶・びん、ペットボトル、プラスチック容器類は個人の消費活動（職員等の飲食など）に伴うものに限る。

② 民間業者が処理できるもの

ごみ・資源物の種類	収集・運搬		処分等
	主体	排出方法	方法(許可業者数)
古紙類	排出者 又は 許可業者	民間業者が 定めた方法	破砕(6社)、破砕・圧縮(2社)、 固形燃料化(2社)、圧縮(2社)、 選別・堆肥化(2社)
生ごみ			堆肥化(4社)、飼料化(1社)、 飼料化・堆肥化(2社)、 選別・堆肥化(1社)、脱水(1社)
草木類			破砕(24社)、固形燃料化(2社)、 堆肥化(2社)、選別・堆肥化(1社)、 飼料化・堆肥化(1社)
プラスチック製品類			破砕(6社)、固形燃料化(2社)、 圧縮(2社)、減容(2社)、選別(1社)
繊維製品類			破砕(3社)、固形燃料化(2社)、 圧縮(2社)、選別(1社)
金属製品類			破砕(4社)、選別(1社)、圧縮(2社)
ガラス・陶磁器製品類			破砕(4社)
コンクリート製品類			破砕(1社)

(平成 28 年 3 月 1 日現在)

(3) 市で処理ができないもの

次の品目については、リサイクルが可能であることや、施設での処理が困難であること等の理由により、市は収集運搬及び処分（施設での受入れを含む）を行わない。

ア 特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）が適用される家電製品  
エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機

イ PCリサイクルマークが付いているパソコン

ウ 適正処理困難物

ピアノ、鉄柱（長さ 2m を超えるもの）、大型温水器、農機具、タイヤ、コンクリート片、ブロック、砂、土、石ころ、瓦、ガスボンベ、消火器、バッテリー、廃油、灯油、塗料、火薬、農薬などの危険物、在宅医療廃棄物（鋭利なもの）など

エ 特別管理一般廃棄物

6 中間処理計画

(1) 焼却処理施設

名 称	北部清掃工場	南部清掃工場
所 在 地	鹿児島市犬迫町 11900 番地	鹿児島市谷山港三丁目 3 番地 3
供用開始	平成 19 年 4 月	平成 6 年 4 月
敷地面積	51,600m <sup>2</sup>	30,300m <sup>2</sup>
処理方式	連続燃焼式燃焼炉(ストーカ式)	連続燃焼式燃焼炉(ストーカ式)
公称能力	焼 却：265t/日×2 基	焼 却：150t/日×2 基
煙 突 高	80m	59m
備 考	発電設備： 蒸気タービン発電機 (8,700kW) 利用方法：場内利用・売電	発電設備： 蒸気タービン発電機 (3,000kW) 利用方法：場内利用・売電

焼却処理量

(単位：t)

焼却対象量	159,885
焼却残渣 (北部清掃工場)	11,013
焼却残渣 (南部清掃工場)	7,197

(2) 粗大ごみ処理施設・リサイクルプラザ

名 称	粗大ごみ処理施設	リサイクルプラザ
所 在 地	鹿児島市犬迫町 11900 番地	鹿児島市犬迫町 11900 番地
供用開始	平成 19 年 4 月	平成 14 年 4 月
敷地面積	51,600m <sup>2</sup> (北部清掃工場に併設)	14,300m <sup>2</sup>
処理方式	破碎・選別	選別・圧縮・保管
公称能力	30t/5h	<b>【缶・びん、ペットボトル】</b> ◆本館：33t/5h ◆3号棟：38t/5h <b>【紙パック】</b> ◆1号棟：2t/5h <b>【プラスチック容器類】</b> ◆2号棟：26t/5h
処 理 対 象 物	◆粗大ごみ	◆缶・びん、ペットボトル ◆紙パック ◆プラスチック容器類

粗大ごみ処理施設・リサイクルプラザ処理量 (単位：t)

粗大ごみ処理施設	搬入量：粗大ごみ		3,505	
	処 理 内 訳	可燃残渣 (焼却処理)	2,821	
		不燃残渣 (埋立処分)	7	
	売 却	鉄	652	
		アルミ	25	
リサイクルプラザ	搬 入 量	缶・びん、ペットボトル	10,039	
		プラスチック容器類	4,510	
		電球・蛍光灯、乾電池	184	
		紙パック	0	
		スプレー缶類	170	
		合計	14,903	
	処 理 内 訳	可燃残渣 (焼却処理)	2,179	
		不燃残渣 (埋立処分)	3,285	
		売 却	アルミ・スチール	1,842
			紙パック	1
			ペットボトル	516
			スプレー缶類	170
		資 源 化	ガラスカレット	2,077
ペットボトル			1,164	
プラスチック容器類	3,477			
電球・蛍光灯	74			
	乾電池	118		

7 最終処分計画

名 称	横井埋立処分場
所 在 地	鹿児島市犬迫町 11900 番地
供 用 開 始	昭和 61 年 9 月 (2 工区 2 期 : 平成 20 年 4 月)
埋 立 面 積	183,300m <sup>2</sup> (2 工区 2 期 : 27,000m <sup>2</sup> )
埋 立 容 積	5,008,000m <sup>3</sup> (2 工区 2 期 : 544,000m <sup>3</sup> )
埋 立 方 法	セル方式

最終処分量

				横井埋立処分場 2 工区
27 年度末残余容量見込み ① (m <sup>3</sup> )				1,878,500
28 年 度	搬入量 (t)	直接埋立処分	もやせないごみ 粗大ごみ直接埋立	6,849
		中間処理残渣	焼却残渣	18,210
			選別残渣	3,351
	合 計			28,410
	埋立容量 (m <sup>3</sup> )	ごみ・覆土 合計 ②		26,500
28 年度末残余容量見込み ① - ② (m <sup>3</sup> )				1,852,000

## 生活排水処理実施計画

1 処理区域 鹿児島市全域

2 計画期間

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

3 処理計画量

(単位：k l)

し尿及び浄化槽汚泥 排出量	内訳	
	し尿	浄化槽汚泥
66,556	15,264	51,292

4 生活排水処理の目標

市域内人口に占める割合 (単位：%)

年 度	28 年度目標
公共下水道 (A)	81.9
地域下水道 (B)	0.8
合併処理浄化槽 (C)	10.9
単独処理浄化槽	2.7
非水洗化 (し尿収集)	3.8
生活排水処理率 (A + B + C)	93.6

5 生活排水処理、し尿及び浄化槽汚泥の処理計画

(1) 公共下水道事業

平成 28 年度の公共下水道の主な整備予定区域は、下記のとおりとする。

① 土地区画整理事業に伴う区域

ア 吉野地区

イ 谷山駅周辺地区

ウ 谷山第二地区

② その他の区域

ア 吉野地区

イ 清和地区

(2) 地域下水道事業

① 市は、一部の地域の汚水を処理するため、地域下水道を設置する。

② 地域下水道の名称及び処理区域は下記のとおりとする。

名 称	処 理 区 域
牟礼岡団地地域下水道	牟礼岡一丁目、牟礼岡二丁目及び牟礼岡三丁目の全部 並びに宮之浦町の一部
松陽台地域下水道	松陽台町の全部

(3) 合併処理浄化槽設置整備事業

- ① 市は、公共下水道事業計画区域外及び地域下水道処理区域外の地区において、合併処理浄化槽の設置を促進する。
- ② 浄化槽汚泥の収集運搬は許可業者が行い、安定的な収集運搬体制を確保するため、下表のとおり収集区域を定める。

また、その処理は衛生処理センターで行う。

収 集 区 域	収集運搬実施主体
本庁、谷山支所、伊敷支所、吉野支所、東桜島支所管内	許可業者 11 社
吉田支所管内	許可業者 1 社
桜島支所管内	許可業者 3 社
喜入支所管内	許可業者 2 社
松元支所、郡山支所管内	許可業者 2 社

(4) し尿及び浄化槽汚泥の処理計画

- ① し尿の収集運搬は市（委託）及び許可業者が行い、安定的な収集運搬体制を確保するため、下表のとおり収集区域を定める。

また、その処理は衛生処理センターで行う。

収 集 区 域	収集運搬実施主体
本庁、谷山支所、伊敷支所、吉野支所、東桜島支所管内	公益財団法人 鹿児島市衛生公社
吉田支所管内	許可業者 1 社
桜島支所管内	許可業者 1 社
喜入支所管内	許可業者 1 社
松元支所、郡山支所管内	許可業者 1 社

- ② し尿及び浄化槽汚泥等の中間処理において、衛生処理センターで発生するし渣は場外搬出後焼却処理を行い、汚泥については全量堆肥化を継続する。

し尿及び浄化槽汚泥の処理施設

項 目	内 容
施 設 名	衛生処理センター
所 在 地	谷山港三丁目 2 番地 1
敷 地 面 積	5,755m <sup>2</sup>
処 理 方 式	前処理後固液分離下水道投入
処 理 能 力	170k1/日（し尿：70k1/日、浄化槽汚泥：100k1/日）
供 用 開 始	平成 13 年 4 月

## 平成28年度資源循環部事業概要について

事業名等	決算額 (千円)	予算額(千円)			事業の概要
	26年度	27年度	28年度	28-27年度	
ごみの減量化・資源化推進事業					
3R推進事業	13,038	14,351	13,896	▲ 455	3Rの意識高揚と実践活動の推進を図るため、公共交通機関による広告や各種団体に出向いた説明会のほか、ごみ出しカレンダーの配布などの広報及び啓発を行う。
資源化推進事業	96,426	92,225	93,484	1,259	ごみの減量化・資源化を推進するため、古紙類、電球・蛍光灯、乾電池及びスプレー缶類の分別収集を実施する。
生ごみのリサイクル出前塾事業	272	316	257	▲ 59	ごみの減量化・資源化意識の向上を図るため、子どもたちにダンボールコンポストを使って生ごみを堆肥化する「生ごみのリサイクル授業」を行うとともに、同授業の担い手となる教職員を対象とした講座を実施する。
資源物回収活動補助金	25,109	26,484	24,280	▲ 2,204	市民団体が実施する資源物回収活動の活性化を図るため、古紙類、金属類、空きびん類、廃食用油などの回収量等に応じて助成する。 ・回収量補助…古紙類6円/kg、古繊維類3円/kg、金属類3円/kg、空きびん類3円/本、廃食用油30円/l ・実施回数補助…(実施回数-1回)×3,000円(上限:年額15,000円)
生ごみの減量化・資源化推進事業	2,440	2,945	2,656	▲ 289	家庭から出る生ごみの減量化・資源化を図るため、生ごみ処理機器を購入設置した市民に対して助成するとともに、ダンボールコンポストについて学べる講座を実施する。 (講座受講者20人×6回)
小型家電リサイクル事業	235	1,151	1,079	▲ 72	資源の有効活用を図るため、公共施設等に回収ボックスを設置し、携帯電話やデジタルカメラなどの使用済小型電子機器等のリサイクルを推進する。
事業系ごみ減量推進事業	-	492	459	▲ 33	事業系ごみの減量化と適正処理の促進を図るため、清掃工場での搬入検査を実施するなど、事業系ごみに対する指導体制を強化する。
ごみステーション整備費補助金	2,945	2,750	3,008	258	ごみステーション周辺の美化を図るため、ボックス型ごみステーションを設置・補修又は再整備する町内会等に対して補助を行う。 ・補助率1/2(上限:50,000円)
一般廃棄物処理基本計画改訂事業	-	3,200	692	▲ 2,508	一般廃棄物処理基本計画の改訂に向け、計画改訂素案を作成後パブリックコメント等を実施し、ごみ排出量や資源化率の見直しなどを行う。
廃棄物監視指導員設置事業	16,119	16,130	16,236	106	廃棄物等の不法投棄や不適正処理及び資源物等のごみステーションからの持ち去り行為を未然に防止するため、廃棄物監視指導員による監視パトロールや指導等を行う。

事業名等	決算額 (千円)	予 算 額 (千円)				事業の概要
	26年度	27年度	28年度	28-27年度		
ごみ収集業務委託料	917,932	958,395	961,973	3,578	ごみ収集業務を行う委託経費	
ごみ収集車等整備事業	34,015	74,772	30,214	▲ 44,558	老朽化したごみ収集車4台(中型車1台・小型車3台)の買換えを行う。 買換えに当たっては、クリーンディーゼル自動車をはじめとする次世代自動車や、低燃費かつ低排出ガス認定車などを計画的に導入する「鹿児島市環境対応車導入指針」に沿って、導入を図る。	
リサイクルプラザ維持管理等事業	240,886	257,915	253,025	▲ 4,890	リサイクルプラザの維持管理、運営を行う。	
リサイクルプラザ施設整備事業	49,087	26,458	39,783	13,325	リサイクルプラザの施設維持管理のための整備工事等を行う。	
横井埋立処分場維持管理等整備事業	6,781	31,938	43,146	11,208	横井埋立処分場の維持管理のため、2工区表流水排水塔嵩上工事等を行う。	
<新規> 横井埋立処分場2工区覆土取場取得事業	-	-	87,689	-	ごみの埋立てに必要な覆土材のシラスを確保するために、横井埋立処分場に隣接する山林の一部を購入する。 ・取得する土地の面積 28,553.56㎡ ・取得の相手方 鹿児島市土地開発公社	
北部・南部清掃工場運営業務委託料	517,857	528,149	525,737	▲ 2,412	北部清掃工場のごみ焼却施設、粗大ごみ処理施設及び南部清掃工場のごみ焼却施設の運営業務委託経費	
北部・南部清掃工場施設整備事業	862,240	1,088,104	1,065,053	▲ 23,051	両清掃工場の焼却施設等の維持管理のための整備工事等を行う。	
南部清掃工場ごみ焼却施設・バイオガス施設整備事業	-	81,627	27,703	▲ 53,924	南部清掃工場のごみ焼却施設とバイオガス施設との一体整備に向け、事業者選定のための要求水準書作成などを行う。	
し尿収集及び処理業務等委託料	360,561	434,431	329,428	▲ 105,003	し尿収集運搬業務、衛生処理センター運転業務等の委託経費	
衛生処理施設等整備事業	29,034	33,986	27,765	▲ 6,221	衛生処理センターの処理能力維持のため、脱水機整備工事等を行う。	
地域下水道事業特別会計繰出金	21,938	9,224	7,558	▲ 1,666	牟礼岡団地地域下水道のポンプ施設腐食対策設備整備工事に対する繰出金	